

いつか きみたちが こいをしたら あいてのことを たいせつに たいせつに してほしいとおもいます。  
これは てじゅんひょうや どうがではないけれども すてきな 詩があるので 「好きな人ができたら」  
として のせて おきます。

『 祝 婚 歌 』(しゅくこんか) 吉野 弘

ふたり むつ  
二人が睦まじくいるためには

おろ  
愚かでいるほうがいい

りつぱす  
立派過ぎないほうがいい

りつぱす  
立派過ぎることは

ながも  
長持ちしないことだと

き  
気づいているほうがいい

かんべき  
完璧をめざさないほうがいい

かんべき ふしそん  
完璧なんて不自然なことだと

うそぶいているほうがいい

ふたり  
二人のうち どちらかが

ふざけているほうがいい

ずっこけているほうがいい

たが ひなん  
互いに非難することがあっても

ひなん しかく じぶん  
非難できる資格が自分にあったかどうか

うたが  
あとで 疑わしくなるほうがいい

正しいことを言うときは

少しひかえめにするほうがいい

正しいことを言うときは

相手を傷つけやすいものだと

気づいているほうがいい

立派でありたいとか

正しくありたいとかいう

無理な緊張には色目を使わず

ゆったりゆたかに

光を浴びているほうがいい

健康で風に吹かれながら

生きていることのなつかしさに

ふと胸が熱くなる

そんな日があってもいい

そしてなぜ胸が熱くなるのか

黙っていてもふたりには

わかるのであってほしい